



平成18年度 上京区運営方針



平成18年5月
京都市上京区役所



上京区のシンボルマーク

総論編

1 区運営方針の目的

上京区では、区のまちづくりの将来像を掲げた上京区基本計画(平成13年1月策定)に基づき、区の個性を活かした魅力あふれるまちづくりを推進しており、特に重点的に取り組むべき事項を明確にし、区民の皆様と共にこの計画をしっかりと推進するため、ここに平成18年度上京区運営方針を策定しました。

2 区運営方針の基本的考え方

上京区は、平安京以来の長い歴史の中で醸成された伝統と文化の薫り高いまちであり、質の高い市民文化が息づいています。また、西陣に代表される産業と暮らしの結びついた「職住共存」のまちでもあります。更に明治以来、学区単位の自治が発達し、現在も学区ごとに住民福祉協議会などが中心となって、それぞれ個性的な自治活動が展開されています。このような歴史と伝統を踏まえ、更なる発展を目指した歩みを進めてまいります。

平成18年度は、平成17年度上京区運営方針に掲げた5つの重点課題の進捗を踏まえ、次のとおり重点課題を抽出し、取組を進めてまいります。

上京区基本計画～「暮らしが息づき伝統と文化の薫るまち」～
3つの柱 『成熟した市民文化の息づくまちづくり』
『にぎわい産業のまちづくり』
『自治と福祉のまちづくり』



3 平成18年度上京区重点課題と政策推進方針 詳細は各論で

重点課題	政策推進方針	所管
区民自治の拠点となる区役所づくり	建設計画の具体化に向けた取組推進	区民部
地域の総合的な安心・安全ネットワークづくり	横断的で総合的なネットワーク形成	区民部 福祉部 保健部
地域ぐるみの子育て支援の推進	子育てネット構築，子どもまつり実施	福祉部 保健部
高齢者が元気に暮らせるまちづくり <新規>	地域の各種団体との連携強化，関係機関ネットワークづくり	福祉部 保健部
環境にやさしいまちづくり	ごみ減量化に向けた啓発等	区民部
「歴史」「文化資源」の紹介，身近に ふれる機会づくり	「上京歴史探訪館」運営支援等	区民部

これら重点課題の実現には、区民や大学とのパートナーシップにより協働のまちづくりを進め、互いの役割と立場を認識しながら、有機的に取組を進めていく必要があります。

4 区役所の役割と目指すべき姿

区民にとって最も身近な総合行政機関としての役割を果たし、地域のまちづくり拠点としての機能を発揮するとともに、区民ニーズを的確に把握し、窓口対応の充実を図るなど、区民の目線に立った良質なサービスの提供に取り組みます。

5 区基本計画・重点課題の推進体制

- (1) 各部の構成及び役割～各部の役割・目標の明確化,各部の連携強化～
- (2) 区民や関係機関との連携～目指すべき区民や関係機関との連携のあり方～
- (3) 進捗状況の把握, 検証

区役所経営会議において, 随時, 進捗状況の把握, 検証を行うほか, 半年に一度, 「人づくり ものづくり ふれあい上京21推進会議」や「上京区行政推進会議」において検証を行います。

6 その他(参考資料)

平成17年度上京区重点課題の進捗状況

区の主な事業に関する年間計画

区に関する主な施策・事業(平成18年度京都市予算から)

区基本計画の推進体制



区長からのメッセージ

まちづくりの主役は区民の皆様です。
赤ちゃんからお年寄りまで安心して暮らせる安全なまちを共に築きましょう。
上京区の歴史と伝統を活かしたにぎわいと活力のあるまちを共に築きましょう。

各 論 編

1 平成18年度上京区重点課題と政策推進方針

(1) 区民自治の拠点となる区役所づくり<柱> 自治と福祉のまちづくり> (区民部)

重点課題

現在、区役所のうち、保健部(保健所)だけが別庁舎となっており、市民の利便性向上(ワンストップサービス化)と行政の効率性確保が求められています。特に高齢者が多い上京区では、高齢者や障害者などの人達に利用しやすい施設として整備することが急務となっています。

また、災害時には災害対策本部を設置する庁舎であるにも関わらず、現庁舎は狭隘なうえ老朽化が著しく、また、現行の耐震基準を満たしておらず、早急に庁舎整備を行う必要があります。



政策推進方針

上京区政130周年を迎えます平成21年までには、「暮らしが息づき伝統と文化の薫るまち」のシンボルとして、各種行政サービスはもとより、交流機能など区民の自治の拠点ともなる上京区総合庁舎建設計画を具体化できるよう取組を進めてまいります。

今年度は、建設計画の具体化に向け、整備用地の確保などに取り組みます。

(2) 地域の総合的な安心・安全ネットワークづくり<柱> 自治と福祉のまちづくり> (区民部, 福祉部, 保健部)

重点課題

地域における日々の暮らしに関わる問題が増加・深刻化しており、安心・安全の確保は、区役所や警察署、消防署などの行政機関の取組だけで果たせるものではなく、市民ひとりひとりの主体的な意識・行動はもとより、地域住民が互いに力を合わせることによる地域の自主的な取組がなければ、実現し難いものになってきています。

近年の少子化や高齢化、核家族化といった急激な社会情勢の変化のなか、地域の住民同士の結びつきを強め、活性化していくことが大きな課題となっています。

政策推進方針

地域の特色を活かし、地域住民と区役所、学校、警察署、消防署などの関係機関が連携を取り合い、防災、防犯、福祉、健康、子どもの安全などに関する多様な取組を展開する「安心安全ネットワーク」モデル事業が大きな成果を挙げており、

今年度は複数の小学校区又は元学区単位で取組が推進されるよう支援してまいります。

更に、健診や健康教室の充実化、食の安心・安全の確保等の取組を進めてまいります。



(3) 地域ぐるみの子育て支援の推進<柱> 自治と福祉のまちづくり> (福祉部,保健部)

重点課題

次代を担う子どもたちが健やかに生まれ育つために、地域ぐるみで子育て支援を推進する仕組みをつくることが求められています。区としての子育て支援に関わるネットワークを構築し、子育てに関わる各種団体や行政機関が有機的に連携する地域の子育て支援システムを充実させる必要があります。



政策推進方針

子育て支援に関する種々の情報を収集・共有・発信するとともに、子どもとその家庭が抱える問題解決に資するため、平成17年6月に設置した「上京子育て支援連絡会」の取組を充実させてまいります。

また、関係団体・関係機関により開催される「上京の子どもまつり」は、地域のふれあいと子育てに関する交流の場を提供することを目的に実施され、今後とも積極的に取り組んでまいります。

(4) 高齢者が元気に暮らせるまちづくり<柱> 自治と福祉のまちづくり> (福祉部,保健部)

重点課題

近年、急速に少子高齢化が進んでおり、高齢者を取り巻く社会環境は大きく変化をしてきています。65歳以上の人口が本市で2番目に多い上京区(高齢化率24.5%,市平均20.1%,平成17年7月1日現在)では、高齢者ひとりひとりが自らの意思に基づき、住み慣れた地域でいきいきと健やかに暮らせる地域づくりが大きな課題となっています。



政策推進方針

福祉分野では、介護保険の制度の活用、上京区社会福祉協議会が取り組む地域福祉活動への支援、地域包括支援センターを中心とした関係機関との連携を進めてまいります。

保健分野では、高齢期における健康保持のために、壮年期からの健康づくり、生活習慣病予防を進めるほか、介護が必要状態になることを予防するための介護予防事業に取り組んでまいります。

高齢者の保健福祉を推進するためには、地域の各種団体(民生児童委員協議会、老人クラブ連合会、保健協議会連合会、医師会等)との連携を強化し、関係機関のネットワークづくりを進めるとともに、住民の主体的参加を促し、地域への普及啓発を進めてまいります。

(5) 環境にやさしいまちづくり < 柱 自治と福祉のまちづくり > (区民部)

重点課題

本市は、COP3開催都市、「京都議定書」の採択地でもあり、あらゆる分野で環境を基軸とした政策を展開することを掲げ、環境に優しい事業活動の推進に取り組んでおります。

区基本計画においても、「クリーンでグリーン豊かなまちづくり」として、区民ぐるみで環境保全を大切に考え、行動するまちを目指し、ごみの減量化など日常生活の視点からの環境保全の取組や身近な緑化や公園の整備等を通じて、緑豊かな美しいまちづくりを進めることとしております。



政策推進方針

現在、本市では、循環型社会の実現に向けてリターンブルびん(生きびん)等の拠点回収やコミュニティ回収制度、プラスチック製容器包装の分別収集のほか、使用済みてんぷら油の回収などの取組が進められており、区内におきましてもこれらの取組が積極的に進められています。今年度は、更なる循環型社会の推進に向け、市民しんぶん上京区版への関連記事の掲載など、様々な機会を通じて啓発に努めてまいります。

また、平成17年9月にISO14001認証取得した区役所における環境に配慮した取組を更に積極的に推進し、環境にやさしい区役所づくりに努めてまいります。

(6) 「歴史」「文化資源」の紹介、身近にふれる機会づくり

< 柱 成熟した市民文化の息づくまちづくり、にぎわい産業のまちづくり > (区民部)

重点課題

上京区は、平安京以来1200年の長い歴史を有し、政治の舞台として、また、茶道をはじめとする文化・芸術、西陣織に代表される商工業も栄えてきました。

しかし、観光寺院や名所も少なく、観光客も決して多くありません。京都を訪れる観光客は、歴史愛好家やリピーターが比較的多く、上京区はこれらの方々を引き付ける潜在的な魅力を有しています。上京区の豊かな歴史・文化資源に係る情報を広く全国に発信し、多くの人々が訪れるにぎわいのあるまちづくりの推進が求められています。



政策推進方針

区民、大学、行政の協働の下、上京ならではの歴史や文化情報を収集・発信する「上京歴史探訪館」を平成17年10月に開設しました。築90年あまりの町家を活用したこの施設は、区民はもとより全国から多くの来館者を迎え、情報収集・発信機能のみならず、集客機能をも有する施設として、認知され始めています。また、区民や学生によるガイドツアーや歴史講座、ホームページ開設など、様々な事業を通じて、上京の魅力を多くの人々に提供しています。

今年度は、事業の充実を図る一方、広報にも力を入れ、多くの人々が訪れるにぎわいのある上京区のまちづくりを進めてまいります。

2 区役所の役割と目指すべき姿

(1) 区役所の役割

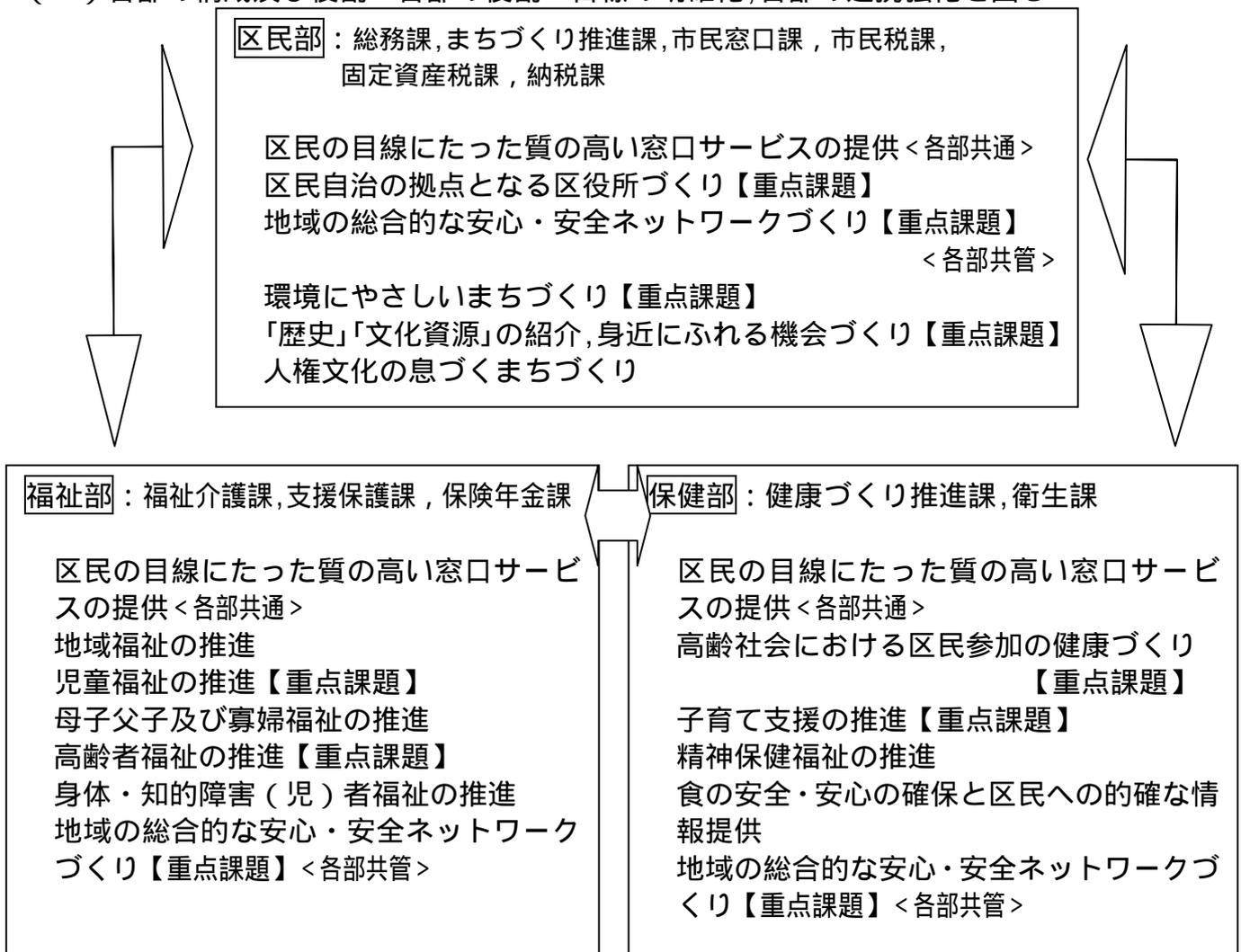
- ア 住民登録・戸籍事務や国民健康保険,市税に関する事務など区民生活に欠かすことができない業務を適正・公平かつ効率的に執行すること
- イ 地域のまちづくり活動支援や,福祉・保健,子育てに関する支援など区の特性に合った身近な行政サービスを提供すること
- ウ 地域との協働,関係行政機関や本庁各局と連携し,区の個性を活かした魅力あるまちづくりを推進すること

(2) 区役所の目指すべき姿

- ア 区民の目線にたったサービスの改革(印象の良い,分かりやすい窓口対応の充実等)
- イ 区民の声を区政・市政の意思形成過程に反映させるための仕組みづくり
- ウ 区基本計画の推進に向けた取組
- エ 区行政の総合性向上のための組織運営方法の改革

3 区基本計画・重点課題の推進体制

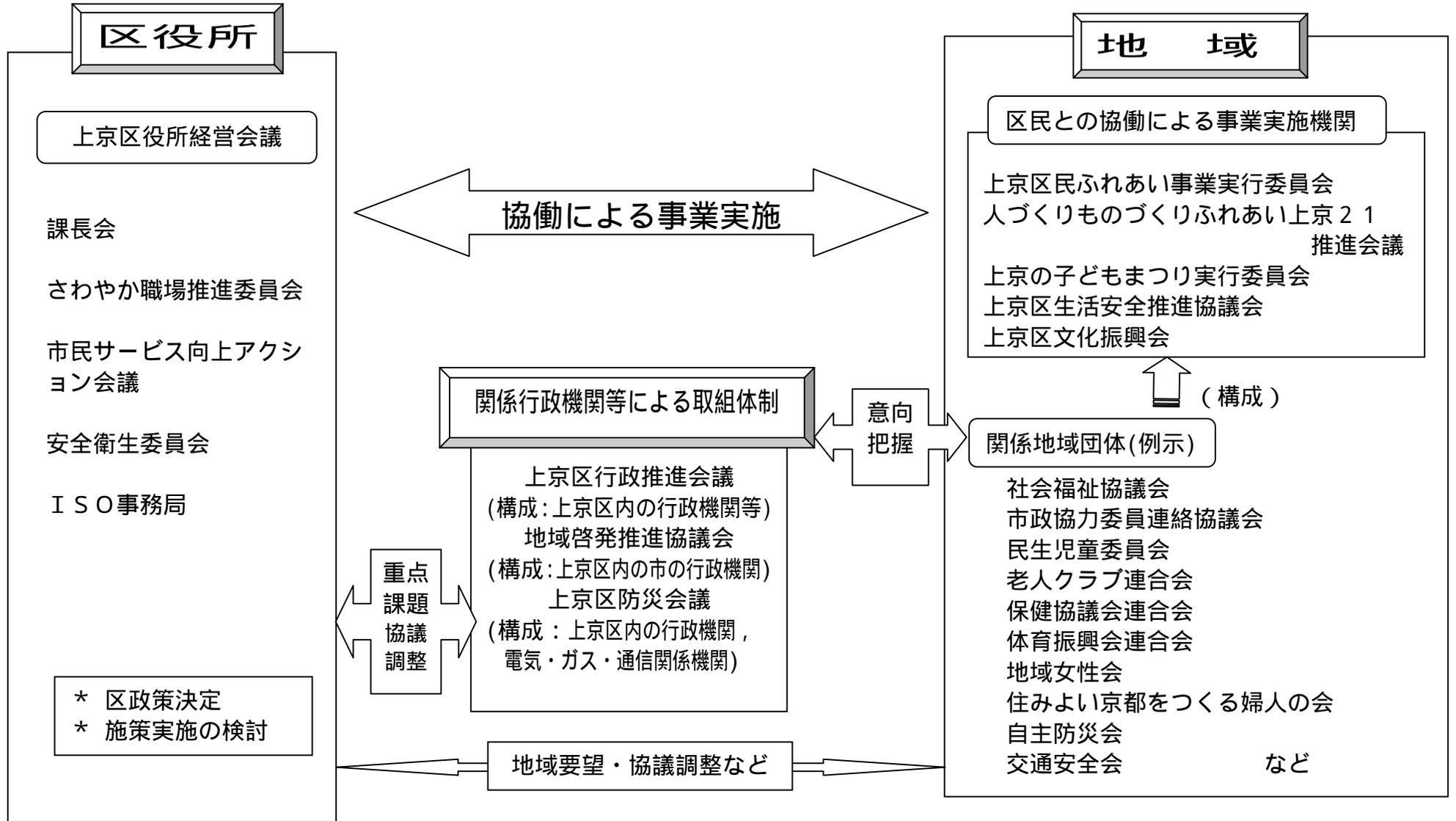
(1) 各部の構成及び役割～各部の役割・目標の明確化,各部の連携強化を図る～



(2) 区民や関係機関との連携～目指すべき区民や関係機関との連携のあり方～

区運営方針の推進には,区役所内における体制を確立するとともに,区民や関係機関との連携を欠かすことはできません。区民のニーズを的確に把握し,目指すべき姿を共有し,様々な取組を進めていく必要があります。その模式図は別図のとおりです。

別図



参考資料編

1 平成17年度上京区重点課題の進捗状況

(1) 区民自治の拠点となる区役所づくり

各学区の代表者の連盟による要望書が平成17年4月に市長へ提出されたことを受け、整備用地の選定を中心に内部で検討を続け、現在地における建替え整備を行う方向で検討を行うこととしました。



(2) 「歴史」「文化資源」の紹介，身近にふれる機会づくり

区民，大学，行政の協働の下，上京ならではの歴史や文化情報を収集・発信する「上京歴史探訪館」を平成17年10月に開設し，延べ1014人の方々をお迎えしました。HP開設，連続歴史講座，ミニガイドツアーなどを開催した他，上京区散策マップ第2弾「京都上京を歩く其の式」を発行しました。



(3) 環境にやさしいまちづくり

平成16年度から取組を進めてまいりましたISO14001認証取得を平成17年9月に達成いたしました。また，8月には，関係行政機関と連携し，区内3箇所で「打ち水大作戦」の取組を行いました。



(4) 地域ぐるみの子育て支援の推進

平成17年6月には子育て支援ネットワークとして「上京子育て支援連絡会」を発足させ，また，11月には「上京の子どもまつり」を成功させるなど，積極的に取組を進めました。



(5) 地域の総合的な安心・安全ネットワークづくり

新町小学校区において，地域の特色を活かし，地域住民と区役所，学校，警察署，消防署などの関係機関が連絡を取り合い，防災，防犯，地域福祉，子どもの安全などに関する多様な取組を展開する「安心安全ネットワーク」モデル事業が実施され，大きな成果を挙げています。



2 区の主な事業に関する年間計画（予定）

シーズン	事業名
春	憲法月間事業
	上京茶会
夏	打ち水大作戦
	上京新能
	区総合防災訓練
秋	ふれあいまつり
	ふれあい文化大学
	歩きたくなるまち上京「歴史散歩」
	上京の子どもまつり
冬	ふれあい史跡ウォーク
	上京こころのふれあいネットワーク
	人権月間事業

注）この年間計画は、昨年度の実績等を踏まえて記載されたものであり、各主催団体等の意思決定がなされていないものも含まれており、中止・変更されることがあります。

3 区に関する主な施策・事業（平成18年度京都市予算から）

（1）『成熟した市民文化の息づくまちづくり』関連

- ア 個性あふれる区づくり推進事業～区基本計画の推進
- イ 歴史都市・京都から学ぶジュニア日本文化検定（新規）
- ウ 京都創生・景観づくり事業～高さデザインによる景観形成事業，歴史的景観再生事業，優良屋外広告物誘導事業（新規）
- エ 観光案内標識の4か国語表記化整備事業
- オ 都心地域における交通環境の抜本的改善～L R T交通社会実験等検討調査（新規）
- カ 京町家なんでも相談・京町家再生賃貸住宅制度

（2）『にぎわい産業のまちづくり』関連

- ア 個性あふれる区づくり推進事業～区基本計画の推進
- イ 西陣織振興対策
- ウ 京の「匠」ふれあい事業
- エ 京ものファン創出事業(新規)
- オ 京もの履歴表示(新規)
- カ 伝統文化教育の充実～「京の雅」探究総合推進事業
- キ スチューデントシティ・ファイナンスパークの開設(新規)

（3）『自治と福祉のまちづくり』関連

- ア 個性あふれる区づくり推進事業～区基本計画の推進
- イ 在宅自立支援給付事業(自立支援法における本市独自減免，新規)
- ウ 地域支援事業(新規)
- エ 有料指定袋制の実施(新規)
- オ リターナブルびん（生きびん）等の回収拠点の拡大
- カ 蛍光管拠点回収制度の創設（新規）
- キ 地域の安心安全ネットワークの形成
- ク 地域ぐるみの子ども安全推進事業
- ケ 中学校グラウンド夜間照明設備設置(各区1校，18～19年度，新規)
- コ 地域力を活かした住宅用火災警報器の設置促進（新規）

4 上京区基本計画推進体制

人づくり ものづくり ふれあい上京21

～上京区基本計画の推進を図るための方策等を決定する中心組織（平成14年8月設立）～

- | | | |
|------|-------------------------|--------------------------------|
| 委員長 | 柿野欽吾(京都産業大学経済学部教授) | |
| 副委員長 | 臈谷壽(同志社女子大学教授) | 成瀬日出夫(上京区民代表) |
| 委員 | 浅野啓子(上京区民代表) | 太田保夫(上京区民代表) |
| | 小川欽治(上京東部医師会会長) | 奥野邦子(上京区民代表) |
| | 垣田敬治(西陣医師会会長) | 加藤アイ(上京区民代表) |
| | 喜多泰弘(西陣千本振興組合理事長) | 高橋康夫(京都大学大学院教授) |
| | 礪波修(西陣織工業組合副理事長) | 廣瀬賢治(上京区民代表) |
| | 藤原信生(上京区民代表) | 山田行圓(茶道裏千家秘書次長) |
| | 余根田保(京都市福祉ボランティアセンター所長) | 巨重好(上京区民代表) |
| (顧問) | 出雲路敬直(京都国学院講師) | 城戸信一(上京区保健協議会連合会会長) |
| | 高瀬博章(上京区自主防災会協議会会長) | 村井康彦(京都市美術館館長, 上京区基本計画策定懇談会座長) |

(敬称略)

「人づくり ものづくり ふれあい上京21」で提言された具体策を検討

ふれあい上京21部会

具体化検討する主な構想

『自治と福祉のまちづくり』

- | | |
|------|--|
| 部会長 | 成瀬日出夫(乾隆学区) |
| 副部会長 | 廣瀬賢治(室町学区)
巨重好(京極学区) |
| 委員 | 川田雄司(成逸学区)
高橋孝三(西陣学区)
松本勝美(翔鸞学区)
浅野啓子(嘉楽学区)
布下善一(桃園学区)
藤田美雄(小川学区)
垣貫敏彦(仁和学区)
太田保夫(正親学区)
古井明之(聚楽学区)
藤原信生(中立学区)
加藤アイ(出水学区)
岡本勝行(待賢学区)
立入嘉啓(滋野学区)
小谷進一(春日学区) |

(敬称略)

印は推進会議委員

平成15年7月設置, 17年7月改組

しみん文化部会

具体化検討する主な構想

『成熟した市民文化の息づくまちづくり』

『にぎわい産業のまちづくり』

- | | |
|------|--|
| 部会長 | 臈谷壽(同志社女子大学教授) |
| 副部会長 | 出雲路敬直(京都国学院講師)
北村廣子(ボランティアひまわり代表) |
| 委員 | 鋤柄俊夫(同志社大学助教授)
高橋孝三(財)西陣織物館元専務理事)
高橋康夫(京都大学大学院教授)
成瀬日出夫(人づくりものづくりふれ
あい上京21副委員長)
山中恵美子(京・町家文化館副館主) |

(敬称略)

印は推進会議委員

平成17年7月設置

連携

地元情報の収集や
イベント開催等
の際に連携し、取組
を推進する。

平成18年度上京区運営方針についての区民の皆さまから
のご意見・ご提案をお待ちしております。

上京区役所区民部総務課

電 話 075 - 441 - 5029

FAX 075 - 432 - 0566

平成18年5月発行